

つながろう 話そう
ケア de 研究会

第48回 ことう地域チームケア研究会を開催しました

◆開催日時: 令和3年3月11日(木) 18:30~20:30

◆参加者: 89名(医療関係40名、福祉関係21名、行政・その他28名)



口からはじまる心身の健康づくり

歯科・口腔と栄養の話

☆今回のねらい

- ◎歯科・口腔に関する基礎的な理解を深め、口腔内のチェックのポイントを学ぼう!
- ◎口腔ケアの重要性や方法について理解を深めよう。
- ◎地域での栄養士の活動について理解を深めよう。

【情報提供その1】

歯科・口腔 「多職種で行う健口チェック」

1. 『口腔内を観察してみよう!』 彦根歯科医師会 堤 正彦さん (つつみ歯科医院)

◆気づいて つながる 『健口チェックプロジェクト』

要介護者の方々のケアは非常に多岐にわたる故か口腔内のケアはどうしても不足しがち、とのお話を時々伺います。そんな中、令和2年度、彦根歯科医師会、県歯科衛生士会、彦愛犬ケアマネ協議会で数回のコア会議を行い、「口腔チェック用アセスメントシート」の作成や、歯科との連携について協議してきました。

*医療福祉関係者が、

①気づいて

②つながって

患者(利用者)の
健康なお口の維持
(課題の解決)

『口腔アセスメント用チェックシート』とは

看護、介護スタッフなどの方々が要介護者の口腔内の問題を簡便に抽出するための口腔スクリーニングツール

◆『口の中はどうなっているのでしょうか』

【チェックシートを使用するにあたって】

- ☆感染症対策をしっかりおこなう
- ☆すべての項目をクリアする必要はありません。(口腔内を隈なく審査するのは結構大変です)。
- ☆必ずしも要介護者の方がお口を開けてくれるとは限りません。その場合はご家族の問診などから推測することで新たな発見に繋がることもできるかもしれません。
- ☆無理のない範囲で利用していただければ良いと思います
- ☆入れ歯は外す(中には着脱困難なものもあるので無理しない) 他



【義歯】

- ◆入れ歯を使用されておられる場合は外してもらいましょう。(中には着脱困難なものもあるので無理しない)
- ◆入れ歯の汚れ具合、破損箇所も確認しましょう
- ◆入れ歯の金具が破損していませんか? それにより粘膜が傷んではいませんか?

☆口腔ケアの重要性を要介護者ご本人、ご家族にご理解いただけるようになることがまず第一目標。そこから口腔ケアや治療に繋がれば大成功!

☆チェックシートの全てを網羅する必要はありません。

☆口腔内の変化は今までの習慣や遺伝、環境などにより大きく変わります。

→ご不明な場合などはかかりつけ医などにご相談ください!

2. 『口腔ケアについて』

滋賀県歯科衛生士会 木下 幸子さん

専門的口腔ケアは、

「機能的ケア」+「器質的ケア」 歯科医師や歯科衛生士が行うもの

◆「機能的ケア」

歯科医院で治療したりして、何らかのトラブルによって下がった口の機能を元に戻したり、機能が落ちないようにしたりすること。

◆「器質的ケア」

歯科衛生士がプラークや歯石を除去して、細菌を減らし、口の中の環境をよくすること。

口腔ケアを行う前に・・・

まずは、お口の中を観察することが大事です。



最高の口腔ケアは、「噛んで食べること」+「歯磨き」

◆「噛んで食べること」

*唾液の働き

- ・唾液がなければ飲み込めないし味も感じない
- ・唾液が口や体を守ってくれる
- ・唾液を減少させない

*口と舌は筋肉でできている

- ・噛むときは、舌と頬で食べ物をおさえている
- ・食べることには60種類以上の筋群が関わっている
- ・噛んで食べて筋肉を鍛える

◆「歯磨き」

*歯磨きの道具

- ・歯ブラシは柔らかいもの
- ・大きすぎず、持ち手が太いものは握りやすい
- ・歯がある人は必ず歯ブラシを使用

*入れ歯は外して洗う

オーラルフレイルとは

口に関する些細な衰えが軽視されないように、口の機能低下、食べる機能の障害、さらには心身の機能低下までつながる負の連鎖に警鐘を鳴らした概念です

☆歯科医院の歯科医師や歯科衛生士になんでも相談してください。

☆訪問看護師さん、訪問ヘルパーさん、介護福祉士さん、ケアマネさん、色んな職種が気づくことが大切です。

☆歯科・栄養・リハビリの3本柱で健口な生活を送る支援を行いましょう。

〔情報提供その2〕

知ってほしい「湖東 食と栄養を考える会」

～栄養士の活動報告～

湖東・食と栄養を考える会

代表 安田篤生さん(パストラルとよさと)

副代表 中原はる恵さん(彦根中央病院)

【活動目的】

医療・福祉に従事する栄養士・管理栄養士が食と栄養に関する理解を深め、資質を向上し、地域住民に貢献できること

事業内容

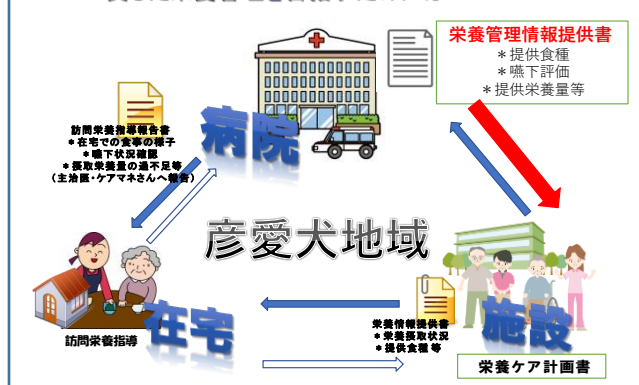
- (1) 栄養・食事に関する研修会の開催
- (2) 情報を共有できるツールの作成
- (3) 地域の医療・福祉に従事する方への情報提供

⇒◆『食事形態一覧表の作成』

病院、施設の利用者が、施設の変更となった場合でも、どの施設でも個人に合った形態の食事が適切に提供されるよう、食の均一化に取り組んでいます。その一環として、各施設の食事形態について確認できる一覧表を作成しました。

***ホームページ「在宅医療福祉情報の森」に掲載！**

シームレスな栄養管理を目指して ～一貫した栄養管理を目指すためには～



栄養に関する相談は、

◎施設入所の方・施設併設の通所施設利用の方・病院にかかっている方 ⇒ 施設の管理栄養士・病院の管理栄養士へ

◎診療所やデイサービス、訪問看護を受けている方 ⇒ 『認定栄養ケア・ステーション』滋賀県内に4カ所あり、湖東地域では、医療法人恭昭会彦根中央病院 栄養科(連絡先:0749-27-6504)

『栄養ケア・ステーション』とは、地域住民の食に関する課題に対応するため、管理栄養士・栄養士が栄養ケアを提供する地域密着型の拠点です。

グループワーク・全体会・質疑応答

☆11のグループに分かれて、話題提供の感想や、それぞれの現場での日頃の状況について情報交換や意見交換を行いました。

☆その後、いくつかのグループの方に、話し合いの内容を発表していただき、全体で共有しました。

☆質疑応答の時間では、オンライン参加の方と、会場参加の方とのやり取りもでき、ハイブリッドを生かした意見交換ができました。

『令和3年度(2021年度)ことう地域チームケア研究会』について

*くすのきセンターからWeb(ZOOM使用)配信と会場参加も可能なハイブリッド形式で行います。(会場参加は人数制限があります)*事前申し込みが必要です。

*参加方法など、詳しくはホームページ「在宅医療福祉情報の森」でご案内いたします。

つながろう 話そう
ウェブ de 研究会

令和3(2021)年度の予定

回	日時 *定例は奇数月第2木曜(一部変更有)	方法	テーマ	担当世話人団体
49回	5月13日 (木) 18:30~20:30	Web & 会場	脳卒中について	◇湖東圏域4病院相談支援部門 ◇湖東圏域リハビリ職
50回	7月8日 (木) 18:30~20:30	Web & 会場	認知症ケアについて	◇彦根医師会 ◇市・町地域包括支援センター
51回	9月9日 (木) 18:30~20:30	Web & 会場	お薬について	◇彦根薬剤師会
52回	11月11日 (木) 18:30~20:30	Web & 会場	看取りについて	◇湖東健康福祉事務所 ◇訪看ステーション連絡協議会 ◇彦根犬介護保険事業者協議会
53回	1月20日 (第3木) 18:30~20:30	Web & 会場	歯科・口腔・栄養について	◇彦根歯科医師会 ◇滋賀県歯科衛生士会 ◇湖東食と栄養を考える会
54回	3月10日 (木) 18:30~20:30	Web & 会場	事例検討	◇彦愛犬ケアマネ協議会

ホームページ「在宅医療福祉情報の森」で研究会の情報をご覧いただけます。

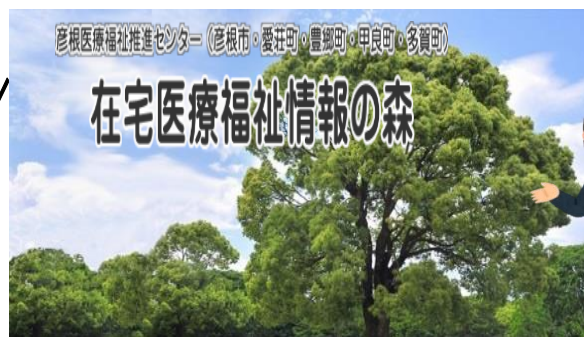
「在宅医療福祉情報の森」URL

<http://kusunoki-iyoho-mori-kotou-shiga.or.jp/>



- ・次回開催のご案内・年間予定
- ・過去の開催内容の報告(たより・資料など)
- ・その他、中止の場合のお知らせ など

メーリングリストにも
ぜひご登録ください!



【研究会に関するお問い合わせ：ことう地域チームケア研究会事務局】

- ◆一般社団法人彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 (TEL 49-2455 E-mail:info@gen-ai-ken-kaigo.jp)
- ◆彦根市医療福祉推進課 (TEL 24-0828)



第48回参加者アンケートより

こんなことを思いました



1. 「歯科・口腔」に関する情報提供について

- ・今後アセスメントチェックシートを活用し、月一度の訪問歯科と連携していきたいと思いました(介護職)
- ・「噛んで食べることでプラス歯磨きが最高の口腔ケアであること、歯があれば噛めるということではない」といった話が印象に残った。オーラルフレイル防止のためにも口腔体操や些細な衰えに気が付く力が大切だと感じた(介護職)
- ・チェックシートは参考にしたいと思った。「すべての項目をクリアする必要はない、無理のない範囲で利用してもよい」と指導していただいて安心しました(看護師)
- ・歯科に関して、高齢になる前から意識づけが必要だと思った(地域包括)

2. 「湖東食と栄養を考える会」の情報提供について

- ・食事形態はその人に合わせたものになるが、ペーストであっても見せ方や盛り付けを工夫されたりして食欲が増す取組をされているのは素晴らしいと思った(保健師)。
- ・食事形態一覧表は非常に分かり易く便利であると感じた。刻む大きさや名称など統一していけると良いと感じた(介護職)
- ・一覧表はよくできていて、療養の場を移っても安心ですね(地域包括)
- ・施設ごとにシートを作っていることを初めて知り、とても分かり易いと思った(社会福祉士)
- ・トロミ食の調理実習もされており、嚥下機能が低下した方でも楽しんで食事をしてもらえそうだと思った(介護職)
- ・相談できるところを具体的に示していただき参考になります(歯科衛生士)

3. 多職種との情報交換について

- ・現場で要介護者と関わっておられる方達がどのようなことに困っておられるのか聞いてよかった(歯科衛生士)
- ・歯科医師に直接質問できてよかった(介護職)
- ・グループに歯科医師がおられたため、優先するポイントを教えてもらうことができた(介護職)
- ・様々な職種の方の意見、それぞれの視点から学ぶことができてよかった(社会福祉士)

4. その他の意見

- ・研究会への参加、オンライン形式も初めてでしたが、他職種の意見を聞くことができる貴重な時間で、仕事は勿論、自分の健康についても考えることができたと思います。直接ではないが、顔を見て話す、つながることの良さを感じることができてよかったです(介護職)
- ・専門用語や難しい言葉は、口頭だけでは分かりにくいので、資料に入れてほしかった(介護職)
- ・資料が小さすぎて分かりませんでした(介護職)
- ・オンラインで参加できるのは非常にありがたい。継続していただきたい(薬剤師)

他にもたくさんのご意見ご感想をお寄せいただきました。ありがとうございました。